

情 報 公 開 文 書

研究の名称	周術期アナフィラキシーの疫学的調査と全国診断支援システム構築 (多施設共同研究)
受付番号	3 8 7
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 第2麻酔科部長 南 雅美
研究の概要	【研究対象者】 富山赤十字病院において、麻酔科医が関与して2019年1月1日から2030年8月31日までに実施される手術患者を対象とします。 【研究の目的】 アナフィラキシーは「重篤で命にかかわる全身性の過敏反応」と定義され、アナフィラキシー時に対応を誤れば患者が死亡する可能性があり、発生した際には的確な診断と迅速な治療が求められます。 手術や麻酔のためにさまざまな薬が使用されますが、そのうちのどの薬がアナフィラキシーを起こしやすいかについては正確なデータがありません。 今回、群馬大学医学部附属病院を含めた全国の病院で麻酔科医が関与して行われる手術を対象として、アナフィラキシーを起こしやすい薬について調査し、発生したアナフィラキシーに対応できるシステムを構築することを目的とします。 【研究方法】 多施設共同前向き観察研究 周術期にアナフィラキシーを発生した患者において、皮膚テスト及び好塩基球活性化試験（BAT）を実施して原因薬剤を特定。 【研究期間】 2019年1月1日～2030年8月31日 【研究結果の公表の方法】 学会や論文などに発表。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	麻酔科管理手術例数、筋弛緩薬とその拮抗薬、抗菌薬、NSAIDsの使用状況・製造会社、薬剤ごとのアナフィラキシー発生率 EDCシステムを用いて、データ登録を行います。
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 第2麻酔科部長 南 雅美
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担 当 者 富山赤十字病院 第2麻酔科部長 南 雅美 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14時～16時